

科目名	電子機器工学		英文表記	Electronic device and equipment		2012/03/09		
科目コード	6215							
教員名: 比嘉勝也 技術職員名:					作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・電子通信システム工学コース			専2	選	学修	2単位	講義	後期
科目目標	身の回りの様々な周辺機器(ディスプレイ・情報記憶装置・電力変換機器)について基本的動作原理を理解し説明できることを目標とする。							
総合評価	定期試験(中間・期末)の平均の80%+学習達成度チェックおよび宿題20% 評価は前期中間までの評価と前期末までの評価の平均で行い、60%以上を合格とする。							
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			
	①	ディスプレイ、HDDなどコンピュータ周辺機器やパワーエレクトロニクスで使用される重要な回路やデバイスの動作原理を理解する。(A-4)			→	正しく説明できるか定期試験および講義での小テスト・宿題で評価する。		
②	機器で用いられる物理現象について理解する。(A-2)			→	正しく計算できるか定期試験および講義での小テスト・宿題で評価する。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学		
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-4、A-2		
授業概要、方針、履修上の注意	<p>本講義では、前半にコンピュータ周辺機器であるディスプレイやハードディスクなどの記憶装置などの弱電機器について授業を行い、後半はパワーエレクトロニクスを中心にインバーター回路やパワーMOSなどの半導体素子について授業を行う。</p> <p>履修に際しては、電子回路および半導体工学などの科目を履修していることが望ましい。</p>							
教科書・教材	本講義では、参考図書を基に制作したプリントを用いる。							
授 業 計 画								
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習(予習・復習)内容	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8	中間試験							
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
期末	期末試験							
16	ディスプレイ1	2	液晶ディスプレイの構造・原理について				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	
17	ディスプレイ2	2	プラズマディスプレイの構造・原理について				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	
18	電池	2	リチウム電池の構造・原理について				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	
19	ストレージ1	2	ハードディスクの構造について				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	
20	ストレージ2	2	半導体メモリについて				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	
21	A/D変換器	2	A/D変換器の構造について				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	
22	D/A変換器	2	D/A変換器の構造について				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	
23	中間試験	2	これまでの内容について試験を行う。					
24	電力調整回路1	2	サイリスタの構造・原理について				講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。	

25	電力調整回路2	2	直流チョップパ回路について	講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。
26	電力調整回路3	2	インバータ回路について	講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。
27	パワー半導体素子1	2	パワーMOSの構造について	講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。
28	パワー半導体素子2	2	IGBTの構造について	講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。
29	インバータ回路の応用	2	インバータ回路について	講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。
30	まとめ	2	講義内容まとめ	講義後に復習として小テストおよび予習として宿題を課す。
期末	後期末試験		これまでの内容について試験を行う。	
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各2時間×14回
②				
③				
備考欄				
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目:集積回路I(4年)、集積回路Ⅱ(5年)				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)